

かめやま 社協だより



生活・福祉のお困りごと
ご相談ください ☎82-7985



 社会福祉法人 亀山市社会福祉協議会
社協だよりは市民の皆様からいただいている会費で発刊しています。



認知症
大丈夫、
心が覚えているから

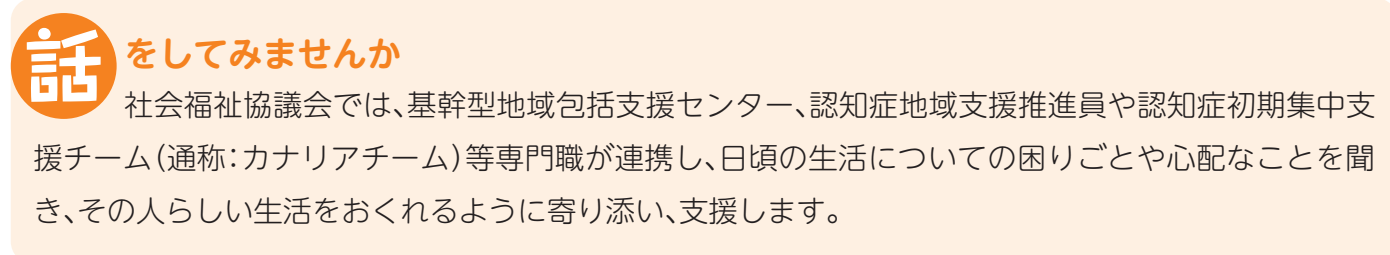
知ってみよう! 聞いてみよう! 認知症

現在、認知症の患者数は増加の一途をたどっています。2025年には65歳以上の高齢者、5人に1人が認知症になると言われており、とても身近な話題として注目されています。認知症は脳に老廃物が多量に蓄積され、神経細胞がダメージを受けることで生活に支障をきたす状態を指し、誰もがなる可能性のある病気です。大切な人との別れ、入院などによる環境の変化が引き金となり、発症するケースもあります。



1人暮らしや高齢者のみの世帯などで認知症状に気づくことができなかつたり、コロナ禍により家族が本人と会うことができず分からないことがあります。また、家族が受診を勧めても受診する気持ちになれず、適切な対処が遅れることもあります。

その人らしく住み慣れた場所で生活を続けられるよう、早めに相談してみましょう。



カナリアチームです



藤田恵子(看護師) 村田みよ子(介護福祉士)

カナリアチームとは

介護や医療の専門職と医師(チーム員医師)とチームを構成し、認知症の人や(疑いのある人を含む)その家族からの相談に応じたり、医療機関の受診や介護サービスの利用手続きを行うなど、認知症の早期診断・早期対応に向けた支援体制を行います。

こんなこと相談していいの?と思わずに、どんなことでもお話しください。早めに対応することで将来に向けた準備をしましょう。

亀山市基幹型地域包括支援センター
☎0595-83-3575



カナリアチーム
イメージキャラクター
かなりん



支援の流れ▶▶▶

電話・窓口などで
相談を受けます。



相談内容に応じて
訪問します。

チーム員医師から
アドバイスを
受け、悩みに沿っ
た提案をします。



安心して生活で
きるよう、症状
や環境に合わせ
た支援先へ引き
継ぎます。

認知機能の低下が認知症ではありません。自立生活などが困難となった状態を言います。でも近親者の認知機能が低下すると、悲しくて辛くて、つい厳しく注意して当たってしまいがちです。でもその対応は更に認知症へと追い込むことになります。認知機能が低下した方々を早期に見つけて適切な対応をすることこそが予防につながります。カナリアチームは、そういった方々を支援していく最高のチームです。悩んだら是非ご相談ください。

チーム員医師 田中英樹 医師



※これからの社協だよりでは、認知症をテーマとした内容を順次、掲載します。お楽しみに★

会長就任のご挨拶

社会福祉法人 亀山市社会福祉協議会
会長 榎谷 英一

この度の亀山市社会福祉協議会の役員改選に伴い、理事の皆様方のご推挙とご賛同を賜りまして、令和3年6月24日付で、会長として5期目の就任をいたしました。引き続き市民の皆様方からのお力添えを賜りながら、地域福祉の推進に取り組んでいく所存でございます。



さて、新型コロナウイルス感染症の影響により生活様式も大きく変化する中、高齢者等の虚弱化の進行や社会的孤立の深刻さが増してきています。一方で、このような状況の中でも、どこかで誰かとつながっていること、地域の支え合いの大切さを改めて認識しているところです。

地域に生きる一人ひとりが尊重され、多様な経路で社会とつながり、参画することで、その人らしい生活ができる「地域共生社会」の実現を目指すため、市と一体的に策定する第2次亀山市地域福祉計画(後期)の策定に取り組んでいきます。

また本年3月には、市内に事業所を持つ社会福祉法人が力を合わせ、地域における公益的な取り組みを推進するため亀山市社会福祉法人連絡会が立ち上がり、本会としましては事務局業務等の支援を行うとともに、地域福祉を推進する中核的な団体として、より一層地域共生社会の実現に向けた地域づくりの推進に努めていく所存でございます。

今後も市民の皆様の信頼と期待に応えられるよう、役職員一体となって地域福祉の向上に努めて参りますので、市民の皆様には引き続きご支援、ご協力をお願い申し上げ、会長就任にあたってのご挨拶とさせていただきます。

新役員紹介 (令和3年6月24日現在)

会長:榎谷英一(学識経験者) 副会長:伊藤ふじ子(学識経験者)、豊田悦子(学識経験者) 常務理事:藤本高尚(学識経験者)
理事:一見八郎(住民組織の代表者)、小林智子(民生委員・児童委員の代表者)、名越平(民生委員・児童委員の代表者)、佐野知之(社会福祉事業を営営する団体の役職員)、安田正(地域福祉・ボランティア活動を行う団体の代表者)、上田寿男(関係行政機関の職員)、小林恵太(関係行政機関の職員)、今西いせ子(学識経験者)
監事:濱口治男(財務管理について識見を有する者)、龍華弘道(社会福祉事業について識見を有する者)

令和2年度事業報告・決算報告（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

令和2年度の亀山市社会福祉協議会は、地域福祉を推進する中核的な団体として、地域共生社会の実現に向け、誰もが安心して明るく元気に暮らすことのできる福祉のまちづくりの推進を目指し、地域福祉活動計画及び年度当初策定しました事業計画に基づきさまざまな事業を実施しました。

※主な事業及び決算を掲載しています。詳細については本会ホームページをご覧ください。

事業報告＜重点項目＞

◆地域福祉力強化推進事業の充実強化

コミュニティソーシャルワーカー(CSW)の配置

CSWが個別支援・地域支援・しくみづくりについて、多様化・複合化した福祉課題の解決に向け取り組みました。

・相談件数 新規件数 76件 延べ件数 1,498件

多機関協働による包括的支援体制の推進

分野を超えた多機関による支援が行えるよう、市に配置している相談包括化推進員とCSWが連携し、課題解決に向け取り組む包括的支援体制を構築しました。



◆地域包括ケアシステムの実現に向けた機能強化

地域包括支援センター事業

総合相談・支援事業相談件数 2,951件

権利擁護事業 高齢者虐待相談件数 延べ87件

包括的・継続的ケアマネジメント支援事業 ケアマネジメント支援相談件数 10件

生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)の配置

住民参加型在宅福祉サービス(ちょこボラ)立ち上げ支援

ちょこボラ養成講座 参加者37名

地域福祉カルテの作成

認知症初期集中支援チーム員の配置

相談件数 延べ146件

認知症サポーター養成講座の開催 6回 延べ参加者140名



坂下地区「よろずや縁」立ち上げ支援

◆ボランティア活動の推進及び 災害ボランティアセンターの機能強化

ボランティアセンター事業

(ボランティア意識の高揚、活動への参加を呼びかけ)

ボランティアセンター登録 49団体 719名

ボランティアコーディネート 36件

福祉ボランティア基金助成 8団体

災害ボランティアセンター資機材の整備

◆サロン活動の推進

サロン活動の助成事業

地域住民やボランティアが主体となって、地域の身近な場所で集まって過ごすサロン活動の推進

ふれあい・いきいきサロン 94団体

子育てサロン 5団体

コミュニティサロン 13団体

『「新しい生活様式」に対応した地域活動の手引き』を亀山市と共同作成

◆福祉教育推進事業の充実

福祉教育推進事業

福祉教育推進校(園) 16校 19園
 ※うちモデル指定校(園)の取組み
 亀山愛児園:市内の高齢者施設へ園児の手作り
 コースターと手紙のプレゼント
 川崎小学校:障がい者スポーツ体験、高齢者施設職員へのインタビュー
 亀山高等学校:高齢者施設へ手作りマスク、サロン団体へ手作り作品の寄贈

◆成年後見制度の活用促進

成年後見制度の活用促進

相談件数 延べ74件
中核機関及び法人後見に向けた協議・検討
 市と成年後見サポートセンター設置に向け協議・検討
日常生活自立支援事業
 (認知症高齢者、障がい者の金銭管理及び書類預りサービス)
 利用者数 37名 支援回数 883回

◆相談・支援に関する事業

総合相談事業

心配ごと相談 相談件数 86件
 社協による法律相談 相談件数 37件

生活困窮者自立支援事業

延べ相談件数 2,488件

生活福祉資金等貸付相談及び貸付事業

相談件数 27件 貸付件数 6件

新型コロナウイルス特例貸付

相談件数 1,502件 貸付申請件数 765件

緊急食糧等提供事業

提供件数 221件

◆福祉サービス事業の充実

特定・障害児相談支援事業

契約者数 92件

訪問介護事業(ヘルパーによる身体介護、生活援助)

介護保険制度 派遣回数 8,962件

障害者総合支援制度 派遣回数 2,318件

障害福祉サービス生活介護事業所「つくしの家」の運営

つくしの家 利用者数 24名

なかまの部屋 利用者数 9名

日中一時支援事業

契約者数 21名

同行援護事業

派遣回数 25件

◆組織基盤の強化

会務の運営

理事会(4回)評議員会(4回)監事監査(2回)

基盤の強化(会員制度の啓発及び推進)

普通会員・特別会員 10,808名

社会福祉大会の開催(縮小開催)

社会福祉功労者の表彰、約50名参加

亀山市社会福祉法人連絡会への参画及び支援

14法人が参画し、亀山市社会福祉法人連絡会を設立しました。

人材育成計画・研修計画の策定

職員を育成・定着できるよう計画を策定しました。

◆その他福祉に関する事業

第2次亀山市地域福祉活動計画の推進

亀山市地域福祉計画推進委員会 1回

小地域ネットワーク活動事業

地区福祉委員会活動助成 22地区

福祉委員 343名

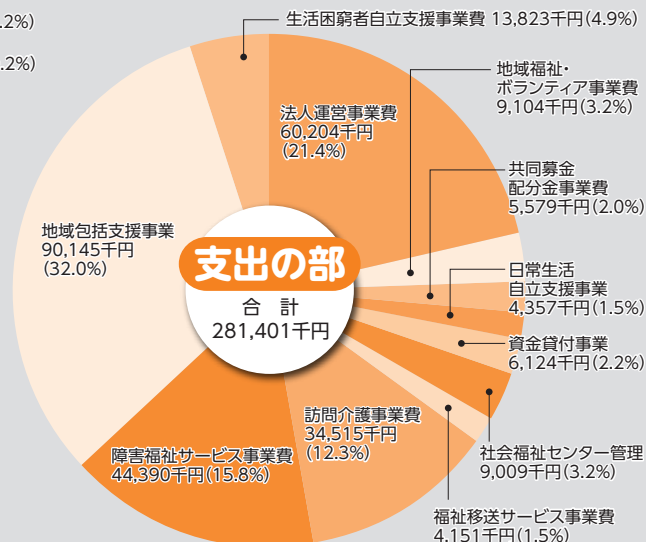
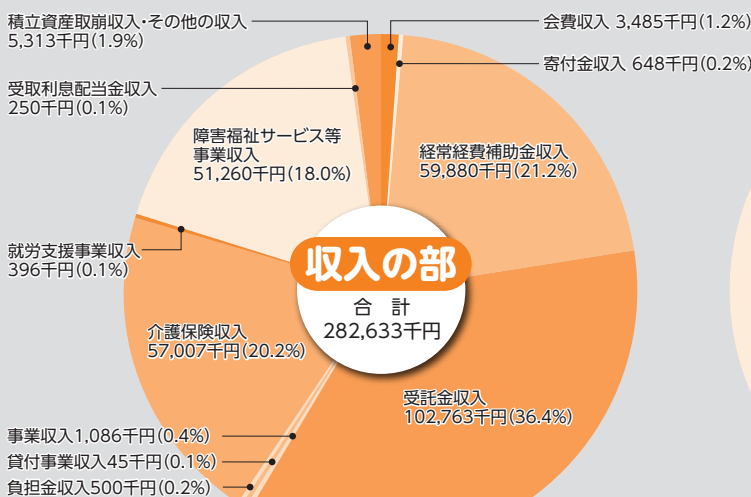
福祉移送サービス事業(歩行困難、寝たきりの方を対象)

登録者数 51名 延べ運行回数 1,306回

介護機器貸出事業

車椅子 169件 歩行器 1件

決算報告



●令和4年度亀山市社会福祉協議会正規職員を募集します

- 採用人数／若干名
- 応募資格／昭和56年4月2日以降生まれの方で、次に該当する方
 - (1)心身ともに健康で、社会福祉の仕事や障がい児・者に理解のある方
 - (2)社会福祉士の資格を有する方(令和4年3月31日までに資格取得見込みの者を含む)
 - (3)普通自動車運転免許を所有の方または採用時まで取得見込みの方
 - (4)通勤可能な方
- 試験の日時・場所など

日時…令和3年11月21日(日) 午前9時～

場所…亀山市社会福祉センター
(亀山市若山町7-1)

試験科目…小論文、事務適性検査、職場適性検査、口述(面接)試験

- 受付期間

令和3年10月1日(金)～令和3年10月29日(金)
午前8時30分～午後5時15分(土日・祝日を除く)
※郵便による申し込みは、10月29日(金)必着
- 採用予定日／令和4年4月1日
- 申込書の請求、提出、問合せ先

総務係 TEL0595-82-7985
※詳しくは社協ホームページをご覧ください。

自然災害発生時の協力体制を!! 亀山ライオンズクラブと協定を締結

日本ライオンズクラブと全国社会福祉協議会が災害時の応援体制のため、協定書を交わしたことを受け、令和3年6月29日、本会と亀山ライオンズクラブ様との間で「自然災害発生時における災害ボランティアセンター支援に関する協定書」を締結しました。市内で災害ボランティアセンターを設置する際、不足する資機材や車両、飲食物の提供、人的支援など、亀山ライオンズクラブ会員さんの専門性や持ち味を活かした



支援をいただけることとなります。地域に根づいた事業を展開している亀山ライオンズクラブ様と災害時の協定を結ぶことができ、大変心強いです。

●令和3年度社会福祉協議会会費にご協力ありがとうございます

皆様にご協力いただきました会費は、市内の福祉活動の推進に役立てさせていただきます。今後ともご理解・ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

善意の寄付 (令和3年6月1日～令和3年8月31日まで)

櫻井潤一様、亀山ライオンズクラブ様

お寄せいただきましたご芳志は、社会福祉事業のため有効活用させていただきます。厚くお礼申し上げます。

亀山市の福祉指数(令和3年9月1日現在)

市総人口 49,425人	65歳以上の人口 13,399人(男性6,009人 女性7,390人)
世帯数 21,742世帯	18歳以下の人口 8,685人(男性4,507人 女性4,178人)
	高齢化率 27.1%

印刷
株式会社 一誠堂

リサイクル適性(A)
再生紙を使用しています。

発行 社会福祉法人 亀山市社会福祉協議会

〒519-0164 亀山市羽若町545番地 市総合保健福祉センター「あいあい」内

☎ 0595-82-7985 FAX 0595-83-1578

公式HP <http://kameyama-shakyo.or.jp>

facebook <http://facebook.com/kameyama.shakyo>

\facebookにて最新情報お届け中!!



亀山社協

検索

“いいね!” お待ちしています♪